

「ことばのカトリアル第 15 号」 「令和元年度 心の講演会」

- 1 行事名 令和元年度 心の講演会
- 2 日時 令和元年 11 月 1 日 (金) 13:15~15:05 [5, 6 校時] 【会場：体育館】
- 3 講師 浜野 慶一 (はまの けいいち) 様 株式会社 浜野製作所 代表取締役 CEO
- 4 テーマ 『おもてなしの心で物づくり』
- 5 目的
(1) 深海探査機「江戸っ子 1 号」等の開発に取り組まれた会社の実績を踏まえながら、信頼が得られる会社経営及び物づくりにかける情熱等について講義を受ける。
(2) 心に訴える講演を視聴することにより、道徳的な意識や価値観を養う。



1 年 1 組 田中 葉円

うまくいかないことがあっても、一緒に頑張ってきた人と協力していくことで支え合えると思いました。努力したらするほどよい結果が待っていると信じて、新しい挑戦をすることが大切だと思いました。

1 年 2 組 吉岡 未来

今回の講演を聴いて、自分の思いや、やりたいことなどが相手と合わなかったりした時は、相手の立場になって考え、また助けてくれたら必ず感謝するという考え方は、今後の生活の中で生かしていけると思うので、しっかりそれを行動に移せるようにしたいです。

1 年 2 組 宇野 心音

今回の講演を聴いて、仕事をする上で早く行動に移すこと、努力・工夫をすること、協力することが大切で、工場が全焼して、その原因となった大企業が倒産し、仕事を辞めようと思った日、金岡さんが言った「あなたと仕事がしたくてここに来ている」という話を聞いて、相手を支え合い思いやる心が大切だとわかりました。

1 年 2 組 大江 祐介

今回の講演を聴いて、仕事の取り組み方や意義を少し理解できたような気がしました。行動を起こして多くのことに取り組むことや、人に気を遣い、やさしく、「おもてなし」の心で仕事に取り組むことなど、今までの自分の考えとは違った気づきがあったので、聞いてよかったです。

1 年 2 組 森澤 彩乃

工場が倒産しそうになっても、あきらめずに仲間を信じて協力すれば、周りの人からの支援や応援をしてもらえるんだと思いました。また、その支援や応援は経済的でなく、精神的にも大きな支えや力になるということを知ることができました。

1 年 3 組 今井 海陽

今回の講演では、浜野さんの、1つのプロジェクトにかけた熱意が伝わってきました。また、プロジェクトを成功させるには、1人だけではなく、多くの人の協力が大切なのだと思います、1人1人との関わりを大切にしようと思いました。

1年3組 岩城 志門

「考えるより、実際に動いて実行する。」この考えは、今までの僕にはありませんでした。僕は今まで、考えて考えてできると思ったら実行するし、できないと思ったら実行すらしていませんでした。今回の講演から、このような言葉を知って、ミスをするために実行しよう。そしてそのミスの原因を実行という形で見つけ出そうと思いました。これからは、考えた上での行動ではなく、すぐ行動するようにしたいと思います。

1年3組 川田 将汰

今回の講演で、一番大切だと思ったことは、「信頼できる仲間」である。きっと浜野さん1人の力では、ここまでの成功を収めるのは困難だったと思う。それらの学んだことを生かし、自分も「信頼できる仲間」を多く作っていきたいと思った。

1年3組 熊谷 瑠輝也

今回、いろいろなことを聞かせてもらって、特に心に残った言葉が「信頼できる仲間」です。浜野さんの話を聞き、1人の力では無理でも、協力すれば強い力になるので、自分も今ある仲間を大切にします。

2年1組 小田 光真

今回の講演では、多くのことを知ることができよかった。「江戸っ子1号プロジェクト」の概要、深海の高圧に耐える技術、実際に深海で撮影されたソコダラ類・ヨコエビ類等の生物等、今回の講演で、深海に対する興味が一段と強くなりました。今後も、自主的に深海等の未知なる環境について調べて、知識を付けていきたいと思います。

2年2組 岡田 大輝

今の規模の工場や、方針があるのは、辛い過去があったから、それが今、生きているのだろうと思った。一度工場の全てが消失し、その原因会社が倒産するなど、復活することができないと思われる状況でも、あきらめないという気持ちで、なんとか立ち直られて、すごいなと思った。

2年2組 中村 彩優姫

最初は、働いている人が2人で、取り立て人が多く来られ、いつ倒産してもおかしくない中小企業が、今ではさまざまな賞を取っておられると聞き、驚きました。「デメリットをメリットにしていこう」という考えがすごく素敵だと思いました。私も、これからその言葉を胸に生活したいです。

2年3組 澤田 小夏

最初は2人から始まり、多くの人が集まり、また減ったりと、とても順調であったとは言えないけれど、それでもあきらめないことで、無理だといわれていたことができてすごいと思った。ずっとやっていることで、見ていた人がアイデアをくれたりするので、“あきらめない”という気持ちは大切だと思えた。自分は、あきらめるのが早いところがあるので、あきらめないでやっていきたい。

2年3組 西 泰斗

浜野様の経験であったり、浜野製作所の沿革を聞き、とても勉強になりました。いろいろな出来事があったにもかかわらず、すごい発明をされ、驚いています。以前は資金もなく、工場で働く人も少なく、工場も全焼したのに、深海探査機を開発されたことが、とてもすごいと思い、勉強になる講演会でした。

2年3組 吉岡 潤

今回の講演で、火事などが立て続けに起こっても、協力してくれた人に恩返しの気持ちを忘れないことが大切ということがわかり、日頃から感謝しながら過ごすようにしようと思いました。大きな困難があっても、180度見方を変えることで、デメリットではなくなることがわかり、これから、何か困難なことがあっても、すぐにあきらめないようにしようと思います。

3年1組 樋口 日登志

今回の講演を聞いて、働く意義について学ばせていただきました。成長しているチームは、1人1人が仲間のこと、社会のこと、誰かのためにといい気持ちを持っているということがわかりました。そして常に、感謝の気持ちを持って、あきらめず挑戦し続けることが大切だと感じました。私も相手の立場を考えて行動していきます。

3年1組 廣田 陸人

今回の御講演では、浜野様が経験された現在の会社になるまでの、想像を絶するお話を聞き、大変驚きました。そんな中で従業員から慕われている訳は、どんな時も、人のために思って頑張られたからに他なく、今の私では、考えられない気持ちでおられるからだと感じた。

3年1組 山口 稜真

今回の講演では、改めて「心は動力源なんだ」ということに気付くことができた。物事をどう捉えるかによって、前に進めるものも進めなくなってしまう。逆にデメリットであることが起こったとしても、視点を変えることでメリットへ転換できるのではないかと思った。このことから、心の持ちよう、考え方を、いかに前向きに捉えるかで、うまくいくかどうかが決まるのだろうと思った。

3年1組 吉田 楓太

生きていく中で、さまざまな困難に遭うことがあると思います。それらの困難を乗り越えていくには、自分1人の力では足りず、仲間の力が必要不可欠だと思います。苦しい時に助けてくれるような、また、逆に自分が助けてあげられるような仲間を作ることが大切だと思います。浜野様の御講演を聴き、そういった仲間を作るためには、自分のことだけでなく、仲間や周りのことを考えられる人間になるべきだと感じました。

3年2組 橋本 倅弥

今回の「おもてなしの心で物づくり」の講演では、浜野製作所が2000年に工場が全焼してしまい、会社が倒産しそうな状況でも、浜野様が苦勞され、今の状況にまで再起されたことがよくわかりました。

3年3組 石垣 一道

浜野製作所様が経験された苦悩など、挫折から成功に至るまでの話を聞き、その中でも印象的だったのは、工場の全焼から復活までの道のりで、決してあきらめない精神が根底にあったことを学びました。

3年3組 波江 大成

「江戸っ子1号」等の開発に取り組まれた実績を踏まえながら、信頼が得られる会社経営及び物づくりにかける情熱が伝わってきました。

3年3組 國枝 愛莉

今回の講演会で、「おもてなしの心を大切に」という言葉から、自分の将来のことと重ね合わせて聞いていました。接客業に就きたいので、自分に当てはまると思いました。接客業において、「おもてなしの心」が一番大切だと思うので、大切にしたいと思います。

3年3組 本郷 允規

今回の講演で私は、仲間の協力は不可欠だということを学びました。そのことがあってプロジェクトも、複数成功されていると話されていたので、実習や就職先などで、協力をできるようにしたいと思います。